



ナデシコ花

なでしこ 第4号

H22 (2010) .7.18 発行
沖館川をきれいにする会
事務局 781-0862

沖館橋近くの「なでしこの小径」花壇では、可憐な“川原なでしこ”が色とりどりに咲き誇り、川の景観美を一層引き立てています。 沖館川をよりきれいにするため鋭意取り組んでおられる当会の 加川光義会長から、このほど“なでしこ花”と会報に因む寄稿文が事務局へ寄せられました。 以下本第4号で紹介します。



会報「なでしこ」誕生によせて 沖館川をきれいにする会 会長 加川光義

夏にしおれず なでしこの 咲けるや花のその力
冬におそれず 稚松の たてるやいろのその操

これは「沖館小学校」校歌三番の歌詞です。弥富破摩雄さんの作詞です。

沖館川をきれいにする会は、平成14年7月にスタートしました。当時の沖館小学校4年の生徒達が「沖館川が泳げるような川、蛍が飛び交う川、川釣りが楽しめる川」と学習活動の希望を、町会が取上げたことから出発しています。

その子供達も、高校を卒業し、実社会や大学進学となり、8年を経過しました。私共は、川をきれいにすること、緑や花で土手を化粧することも大事と考えています。それが地球温暖化防止にも、間接的に役立つこととなります。

沖館川をきれいにする会は、沖館川にのみ拘ることなく、沖館地区の郷土の花「川原なでしこ」の花も愛し、そのために努力されている「緑の会」とも交流を強めて行く必要があると思っています。

沖館川をきれいにする会の会報「なでしこ」は、そんな感じの中から発行致しました。「旧グリーン会館跡地の東側下」です→

沖館小学校では、歴代の校長先生、教頭、学級主任の先生方が、沖館川をきれいにするため、4年生の必須授業の様に授業に取入れておられるのも感謝感激です。

以上



◆7月17日(日)09:00~10:30「なでしこ小径(こみち)」花壇の雑草刈りを実施、主催の沖館地域緑の募金推進協力会(石戸谷忠夫会長)会員・ヒノキアスナロ緑の少年団員や当会員等約50名が参加して、汗を流しました。



「なでしこ小径もきれいになり、一休み」→

